

小国町

「ゆうステーション」とその周辺整備事業が「手づくり郷土(ふるさと)賞」を受賞

小国杉を使った「ゆうステーション」とその周辺の木レンガの歩道や街路樹、木造施設などが優れた景観を作り、ふるさとのシンボルとなっている点が高く評価されました。

洗練された都市的なデザインは人を魅き寄せます。土曜や日曜には若いカップルやグループも多く、小国町は素敵なドライブコースになっています。



夕陽に輝くゆうステーション

嘉島町

「水辺の郷」の天然プールを競技用として改装

全国でもめずらしい、自然の湧水を活用した競技用天然プールが完成。同プールは長年、水遊びや憩いの場として親しまれ、かつては、ローマ五輪百メートル背泳で銅メダル獲得の田中聡子さん等名選手を多数輩出。先月は第46回県民体育祭が開催され、町内はもちろん、周辺町村からも憩いの場として期待されています。



全国でもめずらしい競技用天然プール

熊本市



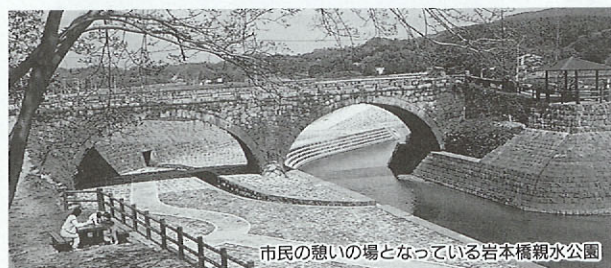
白壁も美しい工芸会館

川尻町に「くまもと工芸会館」7月30日オープン

古くからの伝統工芸が残る川尻町。ここに「くまもと工芸会館」がオープン。この会館は、刃物や桶などの制作を見学できるほか、自分で制作するコーナーや特別注文のできるお店もあり、とても楽しそう。これから各種の工芸教室も開かれるので、多くの市民で賑わいそうです。

地域や水との調和 岩本橋の親水公園が「手づくり郷土賞」を受賞

県指定重要文化財の岩本橋は、肥後・筑後両国の国境を流れる関川に架けられた城北の名橋。昭和60年度から3か年で県事業として東屋、ベンチ、護岸工事等の環境整備が進められ「親水公園化」されました。また地元住民による「岩本橋保存会」が結成され、保存活動や広報活動が続けられています。



市民の憩いの場となっている岩本橋親水公園

荒尾市

県下初、有機液肥製造施設完成

この施設は、し尿に酵素を加えて発酵処理を行い、町の伝統基幹作物である菊、茶、筍、グリーンアスパラ等の肥料として利用しようとするものです。地力回復を目的として建設された施設ですが、環境衛生の向上はもとより有機質肥料の利用による農業の振興、省資源対策に大きく貢献するものと期待されています。



期待される有機液肥製造施設

鹿北町

泉村

釈迦院に木組の展望台

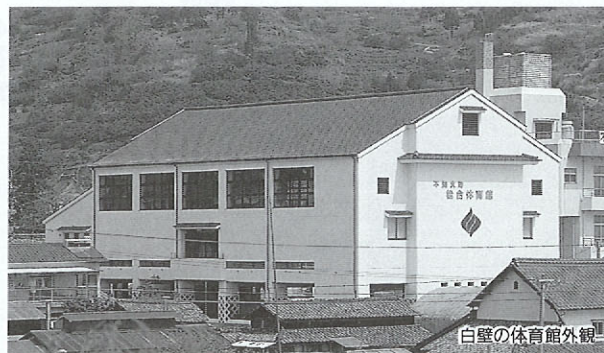
泉村の釈迦院は、中央町の三千段の石段を登ったところにありますが、ちょうど登りきったところに時代劇を思わせるような展望休憩所が出現。天気がいいときの眺めは最高。また、雲に包まれたときには、まるで空に浮かんでいる様に見えます。石段に挑戦して、この展望台を訪れてみませんか。



最高に見晴らしのいい釈迦院の展望台

白壁の体育館完成

不知火町松合は江戸時代中期から明治半ば頃まで、漁業と醤油などの醸造業の町として栄え、現在も白壁や土壁など歴史的な資産を豊富に有しています。その景観を生かし、外観は地域にマッチした白壁で、内装は落ち着いた木目調の文化の香り高い体育館です。



白壁の体育館外観

不知火町

波野村



多目的に使えるイベントデッキ「高天ヶ原」

“金魚と鯉の郷・長洲町”のシンボル『金魚みこし』完成!!

夏の風物詩「金魚」の産地・長洲町では、この程オランダ獅子頭と琉金をモデルとして、特大の「金魚みこし」を2基製作、役場玄関横に展示しています。今後も金魚の種類にあわせ10基以上製作する計画、町内外の各種イベントに出場させ、PR活動を展開する予定です。



7月28日の清正公まつりに参加した「金魚みこし」

うしぶか国際交流会発足

ふるさとの国際交流を進めようと、牛深市の町おこしグループや青年会議所のメンバーが「うしぶか国際交流会」を結成。さっそく牛深を訪れた韓国の大学生や社会人、在日の留学生ら22人の一行との交流会が開かれました。海水浴場での焼肉パーティーやいさり火探検、花火大会を楽しみ、夏の牛深を舞台に国際交流の輪が広がりました。



交流会のあと皆で記念写真をパチリ

牛深市

「神楽苑」オープン

3haの広大な自然の中に、全国でも珍しい「神楽」をテーマとしたイベントデッキや、そば公園、神楽資料館(平成4年3月完成)などを配した、多目的イベント広場が完成し一部オープン。

苑内には、波野特産の「そば」だけを使った「そば処・岩戸開」もあり、気軽に立ち寄れる観光名所として人気を呼んでいます。